財政状況の公表

平成２２年６月１日

秋　田　県　横　手　市

１　収入及び支出の概況

平成21年度予算の執行状況（普通会計・３月３１日現在）

予算額	604億0737万円

歳入

	収　入　済　額	収 入 率
合計	460億1642万円	76.2%
市税	82億3290万円	99.2%
地方消費税交付金	9億5032万円	100.0%
地方交付税	206億2427万円	100.0%
分担金・負担金	4億0033万円	83.9%
使用料・手数料	6億0938万円	106.0%
国庫支出金	68億2534万円	55.2%
県支出金	21億7202万円	51.0%
諸収入	22億8594万円	90.1%
財産収入	1億6447万円	97.8%
繰越金	17億7520万円	113.7%
市債	7億0220万円	9.7%
その他	12億7405万円	95.2%

その他…交付金など

歳出

	支　出　済　額	執 行 率
合計	478億9280万円	79.3%
総務費	61億9,517万円	86.4%
民生費	1,03億2,509万円	79.8%
衛生費	47億5,813万円	92.0%
労働費	3億2,348万円	71.6%
農林水産業費	22億0,129万円	80.0%
商工費	19億5,061万円	92.9%
土木費	65億8,969万円	71.3%
教育費	47億3,077万円	56.5%
公債費	79億3,336万円	99.9%
その他	28億8,521万円	67.8%

その他…議会費、消防費など

普通会計とは、個々の地方公共団体ごとに各会計の範囲が異なることから、自治体間の財政比較ができるようにするため、地方財政統計上で共通して用いられる会計区分で、横手市では一般会計・土地区画整理事業特別会計・障害者支援施設特別会計の３つの会計を合わせたものを普通会計としています。

２.市税収入および負担状況（３月３１日現在）

市税は、市民の皆さんや企業などから納めていただいた税金であり、市の事業を行ううえで欠くことのできない貴重な財源となっています。

なお、入湯税は観光施設や消防施設の整備、観光振興事業などにあてる財源となっています。

区別／税制	収入済額	構成比
市民税	31億3807万円	38.1%
固定資産税	42億1002万円	51.1%
市たばこ税	5億4518万円	6.6%
軽自動車税	2億2656万円	2.8%
入湯税	億8961万円	1.1%
その他	億2347万円	0.3%
計	82億3290万円	100.0%

市民１人あたり　　(3/31住基人口　　101,340 人)

区別／税制	収入済額	構成比
市民税	30,966円	38.1%
固定資産税	41,544円	51.1%
市たばこ税	5,380円	6.6%
軽自動車税	2,236円	2.8%
入湯税	884円	1.1%
その他	232円	0.3%
計	81,242円	100.0%

その他…都市計画税(滞納分)など

３　公営事業の執行状況

企業会計とは、市などが行う公営企業会計のことで、水道、病院、ガス、電気など地方公営企業法の適用を受ける公営企業のうち、横手市では病院事業（横手病院と大森病院）と水道事業が対象となります。

病院事業

＜貸借対照表＞　（平成22年3月31日現在）

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	77億5,476万円	流動負債	2億9,466万円
流動資産	41億7,037万円	資本金	115億5,969万円
	0	剰余金	7,078万円
	0		0
合計	119億2,513万円	合計	119億2,513万円

＜損益計算書＞　（平成21年4月1日から22年3月31日）

費用		収益	
医業費用	65億8,665万円	医業収益	63億1,322万円
医業外費用	1億6,086万円	医業外収益	4億7,282万円
当期純利益	3,852万円		
特別損失	1万円		
合計	67億8,604万円	合計	67億8,604万円

水道事業

＜貸借対照表＞　（平成22年3月31日現在）

資産の部		負債・資本の部	
固定資産	217億3,910万円	流動負債	2億5,369万円
流動資産	25億9,457万円	資本金	164億5,437万円
		剰余金	76億2,561万円
合計	243億3,367万円	合計	243億3,367万円

＜損益計算書＞　（平成21年4月1日から22年3月31日）

費用		収益	
営業費用	12億2,538万円	営業収益	16億1,972万円
営業外費用	3億7,399万円	営業外収益	7,569万円
当期純利益	9,064万円		
特別損失	557万円	特別利益	17万円
合計	16億9,558万円	合計	16億9,558万円

４　公債及び一時借入金の現在高

家庭での自動車ローンや住宅ローンなどのように、市でも事業に必要な資金が不足した場合には、借り入れをして不足分をまかなうことがあります。

このうち、施設や道路などの建設、災害復旧などにあてられ、年度をこえて返済するものが地方債です。

一会計年度内で、現金の不足分を補うために借り入れるお金が一時借入金です。

地方債現在高（普通会計分：平成22年3月31日現在）

市が行う大規模な建設事業などの資金として借り入れるもので、利子とともに年度をこえて返済しています。

地方債の名称	金額
総務債	43億7066万円
民生債	15億3305万円
農林水産業債	52億6462万円
土木債	126億4212万円
消防債	8億8199万円
教育債	44億7765万円
その他	222億1918万円
合計	513億8927万円

その他…衛生債・労働債・災害復旧債など

市民１人あたり　507,098円　（3/31住基人口　101,340 人）

一時借入金現在高

年度内に不足した現金を補うための借入金です。

借入限度額	80億円
借入現在高	39億1426万円

５　特別会計の執行状況

会　計　別	予　　算　　額	
	収　　入　　済　　額	収入率
	支　　出　　済　　額	執行率
国民健康保険特別会計	113億5028万円	
	102億7102万円	90.5%
	101億6036万円	89.5%
老人保健特別会計	億6170万円	
	億3972万円	64.4%
	億3896万円	63.2%
介護保険特別会計	83億5254万円	
	65億2912万円	78.2%
	76億8410万円	92.0%
下水道事業特別会計	34億8405万円	
	18億7844万円	53.9%
	31億4563万円	90.3%
特別養護老人ホーム特別会計	10億9619万円	
	5億8349万円	53.2%
	7億8846万円	71.9%
市営温泉施設特別会計	8億8021万円	
	8億5155万円	96.7%
	7億5396万円	85.7%
集落排水事業特別会計	4億2952万円	
	2億9447万円	68.6%
	3億6007万円	83.8%
浄化槽市町村整備推進事業特	億6754万円	
	億5499万円	81.4%
	億4778万円	70.7%
介護老人保健施設特別会計	5億5255万円	
	3億9154万円	70.9%
	4億4514万円	80.6%
介護サービス事業特別会計	億2395万円	
	億2231万円	93.1%
	億2026万円	84.6%
指定通所介護事業特別会計	億7497万円	
	億9735万円	129.9%
	億6839万円	91.2%
後期高齢者医療特別会計	8億3027万円	
	8億2143万円	98.9%
	8億1775万円	98.5%
財産区特別会計	億1684万円	
	億2540万円	150.8%
	億1126万円	66.8%

特別会計は、特定の歳入歳出を普通会計の歳入歳出と区別して処理するための会計です。